

你好！我介紹大甲國民小學



こんにちは！
大甲國民小学校を紹介します

台湾台中市にある大甲区は、益城町の友好交流都市です。「大甲の聖人」志賀哲太郎がつかないだ縁により始まった交流。今回は、その志賀哲太郎が教員として勤務していた「大甲國民小学校」を紹介します。

大甲國民小学校って どんな学校？

大甲区の中心部に位置する大甲國民小学校は、その創立から126年という長い歴史を誇ります。

同校は1年生から6年生までの全50クラスで、児童数は合計1325人。その教育方針は「温・良・恭・儉・讓（穏やかさ、素直さ、敬意、節度、謙虚さ）」を柱に、礼節と他人を思いやる心子どもたちに伝えていきます。

令和5年11月には、近代的なデザインの新校舎が完成。開放的な空間と豊富な蔵書を備えた図書室が新設されました。また、授業では電子黒板やタブレット端末などのICT教育を積極的に取り入れ、伝統と最先端の教育が共存する学びやとなっています。



上／華やかな運動会
右／流行のドッジ
ボール



体育活動においても、ドッジボールやバスケットボールといった球技が盛んで、特にドッジボールでは地元台中市で開催された大会で見事準優勝を達成しました。

コロナ禍で中止となっていた大会や発表会も徐々に再開され、11月には運動会が盛大に開催されました。



上／電子黒板とタブレット端末を使用した授業
右／高い天井と書架を備えた図書室



大甲國民小学校のランチタイム

台湾の小学校も昼食は基本的に給食です。日本との違いは、各自鉄製のお弁当箱を持ち寄り、四菜一汁のおかずを自分でよそって食べます。お弁当持参も可能です。



好食！
(美味しい！)



部活動の成果発表会

さらに、リコーダー演奏、テコンドー、インラインスケートなど、多様な活動が精力的に展開されています。文化的な違いはあるものの、何となく日本の小学校を思わせる大甲國民小学校。今後、まずは津森小と学問、スポーツ、流行などさまざまな分野で情報を共有し、交流を深めていくことが期待されます。